

2024年7月
全日本学生テニス連盟
理事長 高橋弘季
レフェリー 藤岡源

全日本学生テニス選手権大会におけるヒートルールの運用について

全日本学生テニス選手権大会では、近年問題視されております、暑熱下でのプレーの危険性への対応策として以下の通りの対応をさせていただきます。

1. ヒートルールの採用

全日本学生テニス選手権大会では、男女シングルス共にヒートルール(最終セット前に10分間のコート外での休憩)を採用する。会場内に設置する黒球温度計において、WBGT30.1℃以上または気温35℃以上を記録した場合、ファイナルセット前に10分間の休憩(セットブレイクを含む)が認められる。この10分間の休憩ではトイレ、着替えは出来るが、コーチングを受けることは出来ない。又、試合進行中に気温が下がった場合でも、一度ヒートルールが決定された試合には、試合途中で中断がない限り、休憩は解除されない。

また、WBGT32.2℃以上を記録した場合はレフェリーの判断のもと、屋外コートで行われている試合を中断する場合がある。その場合、WBGTが32.2℃を下回るまでは屋根付きコートのみで試合を進行する。気温の測定は、試合開始30分前と試合開始1時間後から1時間ごとに測るものとする。

2. JTA 公式トーナメント競技規則「25.メディカルルール」の「8.身体的プレーの限界」の適用

身体的に試合を開始、続行できる状態でないとトレーナーまたはドクターが判断した場合は(プレーを開始あるいは続行することが選手に悪影響を及ぼすと判断した場合)、レフェリーが医学的アドバイスやあらゆる状況を考慮し、選手を棄権、あるいはリタイアさせる最終判断を行う。

【具体的な暑熱対策】・・・・・・別紙参照

以上

具体的な暑熱対策について

◇ 出場選手

自己責任で飲食、睡眠、試合準備等を管理して下さい

- ・ 熱中症の既往の有無の確認：「HeaLo」を設定するので各自で in-put して毎日の体調を確認して下さい

URL：<https://user-healo.jta-tennis.or.jp/login?t=k4dhfpyb>

- ・ 冷却用アイス、ドリンクの準備
- ・ 服装、帽子、日焼け止め、日傘など日除けの準備
- ・ 緊急連絡先、連絡方法を確認して控えておく

◇ 試合方式

ヒートルールに基づいた運営を行います

- ・ 試合形式の変更（短縮）

複：ファイナル 10 ポイントタイブレーク ノード

単：予選はファイナル 10 ポイントタイブレーク

前日または当日に高温が予想される場合は同様の短縮を行う場合があります
(回戦毎に試合方式を決定する)

◇ 会場準備

- ・ クラブハウスにドクター及びトレーナーが常駐
- ・ 隣接する四日市ドーム内に大会関係者用の休憩室（冷房あり）を準備
- ・ 場内にミストシャワーの設置（6台予定）
- ・ 会場内テントを準備し、その中にアイシング用クーラーボックスを準備

◇ その他

- ・ 試合時間の短縮のために以下の JTA ルールを厳守してください。タイムバイオレーションをとる場合があります。

* 試合前のウォームアップ：5分

* ポイント間：25秒

* エンドチェンジ：90秒